

第32回県野営大会

群馬宝台樹キャンプリー通信

2025. 8. 1発行

総務部広報係



第32回ボーイスカウト群馬県連盟野営大会実行委員会
実行委員長 高松 富雄

第32回群馬県連盟野営大会が8月8日から12日の間、水上町にある宝台樹キャンプ場で開催されます。単独開催は、13年ぶりの開催であり大会経験者が少なくなっている現状を踏まえ、実行委員会を組織して種々検討を重ねて、大会の準備が進められ今日に至りました。

今回は4泊5日の大会であり、スカウトにとっては、恐らく経験したこともない期間のキャンプとなります。

このキャンプに参加するに当たり、スカウトには目的をもって参加して欲しいと思っています。多くの仲間が集い、そして、語らうことにより友情が育まれる。そんな大会になって欲しいと思っています。

保護者の皆さんも我が子が5日間も家を離れることは、多分今までにはない経験だと思います。親として当然心配であると思います。私は、タイ王国で開催された第20回世界スカウトジャンボリーを皮切りに日本、アメリカ及び韓国で開催された世界スカウトジャンボリーに参加し、多くのスカウトと接することができました。スカウトと歩んだ日々、日に日にたくましくなっていくスカウトを身近に見て驚嘆したものです。また、そこには出会いもありました。現在群馬県連盟で活躍している中本県コミッショナーは、私が二十数年前に指導者として参加した第20回世界ジャンボリーの時のスカウトでした。

保護者の皆さんには、先ほど世界ジャンボリーのことを記述しましたが、スカウトは、この経験を通してたくましくなっていきます。また、本大会は、多様なプログラムが展開されますが、安全の確保を最優先に実施してまいります。すでに担当者が、近隣の病院や広域消防との連携を図っており、看護師も常駐する体制を整えております。

安心して我が子送り出していただきたいと思います。そして、大会後の子供の成長をご覧いただきたいと思います。一つのことをやり遂げた充足感が表情に表れているでしょう。楽しみにお待ちしております。

私は、先ほど記述したように多くの大会を経験してきましたが、そこには、いつもスカウトの笑顔がありました。だから、今日までボーイスカウト活動を継続できたと思っています。スカウトには今大会を通じて、ボーイスカウト活動の楽しさ、そして、仲間の大切さを学んで欲しいと思っています。

来年は、第19回日本スカウトジャンボリーが広島県で開催され、その翌年は第26回世界スカウトジャンボリーがポーランドで開催される予定となっています。是非この大会を契機として、日本のみならず世界に羽ばたくスカウトになって欲しいと思っています。